大会開催にあたって

今年度の研究大会は岡山大学での開催になります。対面開催に戻って3回目となり、個人研究発表は21件と前年から大幅に増加しました。多様なテーマの発表が行われます。ぜひ会場での議論にご参加ください。なお今大会は東アジア現象学会議 (East Asian Network for Phenomenology) とのジョイント開催となります (11月1-2日に開催される同会議の情報はこちらをご覧ください。 <https://sites.google.com/view/eanp6>)。今大会シンポジウムは「情動の現象学 Phenomenology of Emotion」と題して、同会議とのジョイントセッションとして実施し、当該分野で活躍する中国・台湾・日本の研究者3名に提題をいただきます。また今回は北欧現象学会に加えドイツ現象学会からもゲストをお迎えし、2つの特別講演が行われます。さらに、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップ「研究大会へのアクセスとそのあり方」が開催されます。大学院生などの若手研究者にとって無視できないハードルになっているアクセスの問題を共有し、解決策を探る場になればと思います。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。非会員の皆様にもご案内いただければ幸いです。

企画実行委員長

プログラム

11月2日(日)

10:00-12:25 **個人研究発表** (発表 30分・質疑応答 15分)

第1会場 (21番講義室) 司会：稲垣・田口委員

10:00-10:45 古川裕朗 (広島修道大学)

カントの趣味判断における「目論見」の達成と「快」の合目的性
——P・ガイヤーの解釈を手掛かりに

10:50-11:35 中野美花 (日本大学)

意識のハードプロブレムに対する新仮説
——恒常性・外部刺激・神経回路による三要素モデルの提唱

11:40-12:25 中川暖 (上智大学)

エディット・シュタインにおける共同体験の現象学

第2会場 (22番講義室) 司会：石原(孝)・高井委員

10:00-10:45 加藤浩士 (名古屋大学)

主観性という闘争の場

——主観性が隠蔽したものはどこか

10:50-11:35 木下由裕 (東京大学)

中期ハイデガーの芸術論における世界の根源の問題

11:40-12:25 山崎 諒 (慶應義塾大学)

最初期ハイデガーと疑問の問題

第3会場 (24番講義室) 司会：榊原・鈴木委員

10:00-10:45 佐藤大介 (岡山大学)

『イデーニ I』での現実性問題に関する分析は静態的・記述的現象学に属するのか

10:50-11:35 池田喬 (明治大学)・吉川孝 (甲南大学)

倫理学における現象学的直観の意義について

——シュリックによるシェーラー批判への応答を通じて

11:40-12:25 竹村 寛久 (東京大学)

フッサール他者構成論における我の形相の位置づけと未知である他者の構成について

第4会場 (25番講義室) 司会：加國・中委員

10:00-10:45 得能想平 (奈良先端科学技術大学院大学)

ドゥルーズのサルトル批判の射程

10:50-11:35 鳥居千朗 (京都大学)

「超越論的還元は形目的還元である」とはどういうことか

——メルロ＝ポンティにおける超越論的なものと経験的なものの反転可能性について

11:40-12:25 海老澤礼人 (学習院大学)

メルロ＝ポンティにおける「肉の厚み」について

——デュフレンヌのメルロ＝ポンティ読解を通じて

12:35-13:35 **昼休み・第1回委員会 (会場：21番講義室)**

13:45-16:45 **【シンポジウム】 (会場：20番講義室)**

「情動の現象学 Phenomenology of Emotion」

Zhida Luo (Sun Yet-sen University)

Ying-Chien Yang (National Tshing-Hua University)

Riku Yokoyama (Chuo University)

司会：Yuko Ishihara (Ritsumeikan University)

17:00-18:00 **ネットワーキングタイム (会場：文学部会議室)**

11月3日(月)

9:00-11:25 **個人研究発表** (発表 30分・質疑応答 15分)

第1会場 (21番講義室) 司会：長坂・村上委員

9:00-9:45 Maxime Brion (無所属)

Phénoménologie de la parole et parole poétique :

La réponse et la louange selon Martin Heidegger et Jean-Louis Chrétien

9:50-10:35 中谷碩岐 (大阪大学)

『声と現象』における二重のフィンク受容

10:40-11:25 関口拓海 (早稲田大学)

『存在と時間』における「用具性」概念について
——三つの構成要素とその哲学的射程の考察

第2会場 (22番講義室) 司会：古荘・吉川委員

9:00-9:45 臧神慎 (東北大学)

本能としての純粋形式的衝動

——フッサール後期受動的綜合論における対象構成の再検討

9:50-10:35 宮田勇生 (東北大学)

遅延し繰り延べられる意識

10:40-11:25 小田切建太郎 (熊本学園大学)

ドーナツとかたるものがたりの真理論

第3会場 (24番講義室) 司会：中澤・谷委員

9:00-9:45 桑山裕喜子 (東京大学)

「雰囲気」概念の系譜学の試み

——メルロ＝ポンティとシュミッツの身体現象学より

9:50-10:35 野々村伊純 (上智大学)

メルロ＝ポンティにおける神秘的現象

10:40-11:25 國領佳樹 (東京都市大学)

メルロ＝ポンティにおける幻覚の問題

11:35-12:35 **昼休み・第2回委員会 (会場：25番講義室)**

12:45-13:15 **総会 (会場：20番講義室)**

13:25-15:55 **【男女共同参画・若手研究者支援WG主催ワークショップ】 会場：20番講義室**

「研究大会へのアクセスとそのあり方」

入江祐加 (岡山理科大学)

佐藤大介 (岡山大学)

竹島あゆみ (岡山大学)

司会・オーガナイザー 鈴木崇志 (立命館大学)

16:05-17:05 【特別講演1】会場：22番講義室

Double Bookkeeping and Multiple Realities

Kasper Møller Nielsen (University of Copenhagen)

17:10-18:10 【特別講演2】会場：22番講義室

Phänomenologisches Erfahrungsdenken zwischen „europäisch-deutscher“ und „ostasiatisch-japanischer“ Philosophie

Georg Stenger (University of Vienna)

16:05-18:10 【公募ワークショップ】会場：24番講義室

「なぜハイデガーが実践の記述において重要なのか

——現象学的な質的研究の一つの可能性

呉文慧 (神戸大学)

海老田大五朗 (新潟青陵大学)

榊原哲也 (東京女子大学)

オーガナイザー 池田喬 (明治大学)

【会員休憩室】 23番講義室

お知らせとお願い

1 会費納入

学会費 (年間3,000円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。

2 『現象学年報』印刷版について

電子版の配信というかたちで会員の皆様にお届けしている日本現象学会の学会誌『現象学年報』の印刷版をご希望の会員には、実費

負担で購入して頂くことができます (価格未定。単価は購入希望数によって変わります)。第41号 (2025年11月発行予定) の印刷版の購入をご希望の方は、2025年11月15日23:59までに編集局長 (shojiro.kotegawa@gmail.com) 宛に希望部数と郵送先を明記してお申し込み下さい。なお、2024年度の総会で決定した通り、41号の印刷版の希望者が執筆者以外におられなかった場合、42号から印刷版の購入を執筆者に限ることとさせていただきます。

3 「今後の研究大会のあり方に関するアンケート」のお願い
事務局からのメールでお伝えしたリンク先から、10月10日までにオンラインでご回答ください。ご回答の内容は今年度の男女共同参画・若手研究者支援ワークショップの参考資料とさせていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。(実施責任者 鈴木崇志)

4 2024年度決算報告 (2024.4.1~2025.3.31)

【歳入】

【歳出】

歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥1,911,510	『年報』出版費	¥294,844
納入学会費	¥959,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥14,366	『年報』送料	¥0
研究大会参加費	¥0	通信費	¥56,782
普通預金利子	¥30	企画・実行費	¥0
計①	¥2,884,906	事務局経費	¥17,808
【次年度繰越金】	¥1,903,082	研究大会開催費	¥272,390
		研究大会講師謝礼	¥60,000
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥280,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥0
		研究奨励費	¥0
		特別経費	¥0
		計②	¥981,824

第47回

研究大会

日時：2025年11月2日 (日)・3日 (月)

会場：岡山大学 (津島地区北キャンパス)

参加費：500円 (会員・非会員の区別なし)

日本現象学会

事務局：

〒168-8555

東京都杉並区永福 1-9-1

明治大学和泉キャンパス 池田喬研究室内

Email: paj-office@pa-j.jp

郵便振替 00980-9-109153

HP: <http://pa-j.jp/>